

JLTF 富山県支部だより

JAPAN LADIES TENNIS FEDERATION TOYAMA REPORT 2008年 No.16

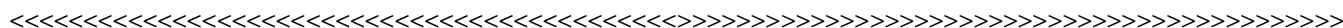


2007.11.21(水) 「藤原 里華 選手とテニス」 岩瀬ドームにて



日本女子テニス連盟富山県支部

<http://jltftoyama.web.infoseek.co.jp/>



2008年 北京オリンピックの年です。
日本選手のたくさんの金メダル獲得を期待し、私達も目的を持って頑張りましょう。

JLTF(日本女子テニス連盟)富山県支部長 勢濃 敏子

昨暮 12月4日、日本女子テニス連盟40周年式典で、皆様のご祝辞や歴代役員の方々のお話を聞いて、40年の長い歴史の間、女性の小さなテニス活動が全国展開にまで成り、現在の日本のテニス界に大きく貢献している現状を知り、歴代の役員の方々のご功績に感謝し元気を頂いて帰って参りました。

昨今、各支部の悩みは会員数の減少(特に若い方達)で当県も同じです。50才、60才が増えてきてはいますが、その種目の参加数が少ない事と、一般の若い方、初級の方々の参加も少ない現状を見て、今年もまた、更に楽しい企画を役員一同考えておりますので、一人でも多くのご参加をお待ちしております。

また、今秋10月8、9日(水、木)と5年に一度の北信越レディース大会決勝大会が魚津桃山運動公園で開催されます。皆様の応援で大会も盛り上がりますので足を運ばせて下さい。

最後にH19ピンクリボン全国大会、ソニー生命全国レディース、ヨネックスレディースチャレンジカップ全国大会への代表選手の健闘に感謝し、今年の選手にも期待します。

全国レディース大会を終えて

杉原 庸子

今回は2回目の全国大会でした。富山県は第1試合で開会式後すぐに試合に入りました。対戦相手は鹿児島県です。コートに入ると昨年の1 - 6、0 - 6のスコアであっという間に終わってしまった東京都との試合が蘇って来ました。今度はそうならないように練習を重ねて来ましたが、鹿児島との試合は、気が付いたら0 - 4で4ゲーム連取されていました。これではいけないと思いパートナーとも話し合い、まずは自分達のミスを減らしていこうと決め2人で挑みました。すると、1セット目は6 - 4で取ることができました。その後は鹿児島の粘り強さに自分達の集中力が切れ、それと同時に疲労感に襲われ2セット目3 - 6、3セット目4 - 6で負けてしまいました。技術面、体力面で負けたというよりも最後の最後に絶対に勝つんだという気持ちが相手に負けてしまったのです。コートの中にはテニスの神様(チャンスの神様)がいてその神様は前髪が長く後ろがはげているのだという。チャンスだと思った時に前髪をすぐに掴んでしまわないと逃げってしまうと聞いたことがあります。今回はもう少しで前髪を掴めそうでしたがやっぱり遅かったようです。

次こそは3度目の正直で技術面、体力面、精神面により磨きをかけ県の代表となり全国で勝ちたいと思います。今度こそチャンスを掴みたいと思います。最後にこの全国大会に行く私達6人を応援し支え練習して下さい皆様、監督、本当にありがとうございました。



やっぱりダブルスっていい!

藤谷 裕子

テニスがどんどん好きになってきたこの数年、私は自分がどんなプレーをしたいのかなあと探していました。杉原さんのお蔭で県代表になり、せっかく頂いたチャンスを生かそうともがいた数ヶ月でした。初めての全国大会は、残念ながら小心者の自分が露呈した結果となりました。アドレナリンも沢山出し、家族や女子連有志の方々やソニー生命様の応援がとても嬉しいのに、その中でポイントを失っていくのをどうにもできませんでした。でも、負けて情けない気持ちの中で、勝っていく全国の女性達に探していたものを見つけた気がしました。年齢をおして頑張れ自分!とプレーする気迫が、かっこいいと思いました。やっぱりダブルスっていい!もっとテニスがしたいです。全国レディースありがとうございます。この気持ちをいろいろな方向にリターンしたいと思います。



転機は突然訪れる!

宮本 三枝子

テニス歴は軟式いれて29年になりますが、まさかこんな40過ぎて全国大会に行けるなんて夢にも思いませんでした。その前に県予選...テニスの大会は色々出ていますが、こんな肉体的に辛いしんどい試合は味わった事もないしチョー過酷です。やっとの思いで勝ち抜いた県予選...全国での壁は厚く勝つ事は難しいです(>_<)ですが負けても必ず得る物があります!プロの試合とはまた違うのですが、会場の雰囲気、緊張感、他県のプレイ...など、勉強...感動です。今後の力の源にもなりますよ。みなさん転機は突然訪れます!何事にもチャレンジ精神で。最後に...この場を借りて...関係者の皆様、応援して下さい皆様、ありがとうございました。

精神的な強さが必要

森 真理

初めて、全国大会に出ることができ良い経験ができたことを嬉しく思います。一緒に練習した仲間、強化練習に来てくださった先輩の方々、そして監督ありがとうございました。

今回感じたことは大事な試合ほど精神的な強さが必要なるということ、そしてお互いにベストな状態で試合に臨めるように日頃からのペアでの練習、コミュニケーションも大事だと思いました。東京では、パートナーが攻めの気持ちで頑張ろうと引っ張ってってくれたので心強かったし、積極的にもなれたと思います。



全国レディース北陸大会に出場して

田子 由美子

この大会はペアの米島さんは何度も出場している経験者ですが私は初参加と言う事もあり、大会に飲まれてしまったのか団体戦では応戦しているものの、地に足が着かないまま石川・福井に負けてしまいました。「もう、どん底。」後がなく負けからの脱出の個人戦でした。勝ちを意識せず、団体戦のミス一つでもなくそうと、今やれる事に集中し、一つ一つ欲を出さずに確実に出来た事。終ってみたら...三位楽しんで苦しんで、おまけにどん底から脱出が出来て。一つ勝つごとに少しずつ増えてくる応援の声を背中に受け、頑張る事ができました。この先、またダメな日があるかもしれませんが、自分とペアを信じて、立ち直れる事を実感した一日でした。米島さん!ありがとう。



個人戦3位 米島・田子ペア

第5回ピンクリボン全国大会に出場して

正木 敦子

この大会に出場するのは、2回目です。初めての全国大会では、『参加する事に意義がある』と出られた事に満足感がありましたが、2回戦で敗退。「まだ上に行けたのに...」という思いから、もう一度ここに来て全国で勝とうとペアの笹田さんと誓いました。

自分に出来る事を頑張ろうと臨んだものの『勝たねば...』とプレッシャーを自分にかけ、思うようにボールをコントロール出来ない状態で初戦のコートに入りました。緊張は、1ゲームまでで不思議なくらい集中できました。福本さんと小柴さんの1本にかけるプレーやベンチコーチに入ってもらった時のアドバイス。そして何よりこの日のために頑張ってきたパートナーとの声かけに勇気付けられ頑張れました。ベスト8という考えもなかった結果を嬉しく思うと共に、次への課題が見つかりました。

ガマン・ガマンがほとんどで、チャンスは逃さない。丁寧に丁寧に、でも思い切らなければいけない時を逃してはいけない。全国大会という大きな舞台で得られた物を大切にまた頑張りたいと思います。大会に出場出来たのも、女子連でお世話して下さった方々、練習してくれた友達、家族や私の周りの方々...そして、せっちゃんのおかげだと感謝しています。ありがとうございました。

全国大会ベスト8の大健闘

正木・笹田ペア 福本・小柴ペア



北信越レディース大会に参加して

酒井 茂美

今年の北信越大会は福井での開催でした、どうにか代表に残れてほっとしたのもつかの間で余興係を任命され頭のなかは余興一色に..練習では正直皆さん動きも堅く、とりあえず無事終われば、と言う思いだったのですが、いざ本番！えっ！何っ！さすが代表に残る面々！のりも出来も120%！他県の評価もバッチリ！もう一度代表のチャンスがあれば今度はテニスを頑張ります！

初めて女子連に参加して

(魚津市TA) 江淵 清美

女子連(全国レディーステニス富山県大会)に初参加。「すごい！」何が？テニス雑誌に出ている幕がコートサイドにあった事。そして「上手い!!!」テニス=ストレス解消という私とは全然違う。女子連に誘ってくれた友達に、運営して下さる方に感謝！



見たら必ず募金したくなる美しい募金箱です。皆さん、宜しくね！
製作 by 会員の方です。



おめでとうございます！

元氣とやまスポーツ賞を受賞して



(ドームTC)山本 順子

推薦をして頂いた女子連の皆様ありがとうございました。坦々と全日本に挑戦し続けた事と明日からの元気を皆様に伝えられます様にと考えております。この先私に続いて女子連から受賞者が生まれまます様期待しています。



全日本ベテランテニス選手権大会 2007

65才以上 女子ダブルス 優勝！

華麗なボレー・パワフルなサーブ・スマッシュが持ち味

サークル紹介 (順不同)

ポニータ 結成されてほぼ10年。ポニータとはフランス語で「可愛い」という意味です。その名にふさわしく、福本コーチをはじめ美女達の集まりです。

m club 結成5年になりました。週1回楽しくレッスン、楽しくゲーム、楽しくランチして和気あいあいと活動しています。今年も少しでもstep upできるように頑張ります。

Team Wish ウィッシュのスクール仲間です。コーチの熱い指導のもと、各々の目標に向かい練習に汗し、テニスを楽しんでいます。本当にテニスは奥が深く楽しくって、負けても負けても やっぱ やめられんわ~。

ホワイトキャップス 主婦6人の小さな所帯ですが、公私に渡りチームワーク抜群です。最初は同好会的サークルでしたがようやく大会にエントリーできるようになりました。共通の目標を持って、さらに上をめざしていきたいです。

ジェイ フレンズ 女子連の講習会でハツ橋コーチに教わり、立ち上げたサークルです。結成10年目を迎えました。コーチの声を真剣に聞き、取組んでいます。常に前向きですが笑いの絶えない楽しいサークルです。

mok.mok mok曜日にmokmokとテニスするサークルです。季節毎の宴会も全員できちんとこなしています。週に一度ですが、楽しい時間を過ごしています。遊びに来て下さい。ゲスト大歓迎です！！

JSS富山 雨や雪も気にせず足に優しいカーペットコートで楽しくレッスンしています。今年ももっと多くのスクール生が試合に出てくれるよう声かけしていきます。

スポーツメイト その名の通り、テニス好きな仲間達の集まりです。多少の雨や風は何のその、真夏も元気にラケットを持って集まっています。年齢も性格もバラエティ！テニスを愛する方、どうぞ声をかけて下さい。

ステップ もうすぐ、結成8年目を迎えます。今年度も、河野コーチの厳しくも、温かいご指導の元、日々、精進して参ります！

上市美ん奈TC 家族会員が多いので、土日に家族連れでテニスを楽しんでいます。中新川郡テニス協会の大会運営もしていますので女子連の練習がてら是非参加して下さい。

フェニックス 私たちは幾つに成っても、テニスが恋人のサークルで月2回活動を楽しんでいます。貴女も50を過ぎたら一緒に楽しみませんか。

女子連登録サークル数は22。元気に楽しく活動しています。あと半数のサークルは、次号で紹介します。お楽しみに！

委員会から

総務委員会

総務はいわゆる裏方ですが、色々な方に名前と顔を覚えて頂けた事、嬉しく思います。女子連は本部があつての富山県支部ですが、各県独自のカラーを出せていければ、より活気あるものになると感じました。

普及・強化委員会

私達にとって、2007 は「出会いの年」であった気がします。最初の出会いは5月の熱気溢れる試合に参加した新川地区の皆さん、7月に得意満面の顔でコートを走り回ったり、上手くできなくて目に涙を浮かべた子、お土産を手にして笑顔のチビっ子達！レッスンに熱中しすぎて、「子供たち？そんなの関係ない」状態のママさんもいたような？そして10月レディースデーでの初対面の会員さんたちの出会い、強化委員会には、大会で勝ち抜いて初めて練習会に参加する選手達との出会いがありました。2008は「願いの年」となるように、県東部・西部の人達との、より一層親密な交流の機会が増える事、新規会員の増加、代表選手の強化と活躍を願い、会員と本会の隆盛を願って今年も普及に強化に願いをこめて努めてゆきたいと、委員4人は心から「願って」います。

競技委員会

大会では多くの試合に参加いただきありがとうございました。大会の運営を一緒にして頂いたサークルの皆様いろいろ大変だったと思います。本当にありがとうございました。19年度はフレンズ大会を復活し20年度はプリンスレディースと桑名杯に50歳以上のクラスを増やしました。より多くの方々に試合を楽しんでいただきたいと思っています。20年度も皆様へお願いすること多々あると思いますので宜しくお願いします。また、意見ありましたら教えてください。



ベテラン委員会

たんぼばカーニバルは、今までの個人戦から1チーム2組の団体戦へと内容も一新し春一番の楽しい大会となりました。県外との交流会（観桜・五月・七夕の会）では、嬉しいことに50代前半の参加者が増え、総数UPにつながりました。その上、元気と力強さが加わり各グループ大いに盛り上がったようです。月2回の練習会にも是非ご参加を！最後になりましたが、ようこそお運びありがとうございました。

ジュニア委員会

「ジュニアの大会は大変！」確かにそうなのですが、富山女子連はジュニア育成のために20年以上も続けています。県外からの参加者も毎年楽しみにしています。もらったトロフィーや盾が嬉しくてがんばるようになったジュニアも沢山います。なんといってもジュニアの大会は女子連にとって大きな収入源でもあり、そんなジュニア大会を理解してほしいという思いから今年度は、各サークル1回はお手伝いをお願いしています。私達会員が大会にエントリーするだけでなく大会運営にも参加することにより、女子連は成り立っています。今年の夏も皆さんのご協力を宜しくお願い致します。

スーパースポーツ

この人に聞く！

2007年女子連の大会に最多出場！テニス、フラワーアレンジ etc と多趣味な、ペア歴10年、ベテランのお二人です。



加藤 豫蒲子・南里 恵美子 ペア

(テニス歴22年)

(テニス歴15年)

Q:ペアを組んだきっかけは？

南里：滑川の同じクラブに所属していたこともあり、私から加藤さんに声をかけたら、受けてくださいました。

Q:初試合の思い出は？

南里：夏のダンロップテニス大会。田村・川原ペアと対戦。舞い上がってミスを連発し申し訳ない気持ちで一杯でした。

Q:長続きの秘訣は何ですか？

加藤：年齢が10才離れているのでかえっておおらかな目で相手を見てあげることができたと思います。

南里：数年前、自分のわがままな態度に気付いて反省してから、ペアを思いやれるようになりました。

Q:テニスをするようになって変わったことは？

加藤：“テニスを通して健康をもらっているような感じ”家でもがんばる気力が湧き、明るくなれます。

南里：あまり風邪もひかなくなったし、強くなりました。

Q:ペアとしての目標は？

加藤・南里：“この1本とればなんとかなる”というシーンで、ポイントできるよう粘り強くふんばりたいです。「継続は力なり、夢は叶う」の気持ちでこれからもがんばっていきます。

子育て中のママ達へ

八ツ橋 幸代

先日、我が娘が成人式を迎えました。と同時に私も今年で女子連加入成人式(祝)！なぜしっかり覚えているかということ、今年で第30回を迎える全国レディース大会に初めて出場したのが第10回大会だったので…そのとき1歳になる娘を連れて東京に行き試合！今考えればなんと無茶苦茶、無謀なと思い起こされます。このような状況でも試合できたのは、周りの先輩方の手助けと暖かい気持ちのおかげ、家族の理解だったと思います。最近、子育て中のママ達の女子連参加が少ないように思うのでぜひ皆さん、子供連れでコートに！待ってま〜す！



編集後記 ご多忙中、原稿をお寄せ下さった方々に心より感謝致します。皆さんの思いをひしひしと感じつつスペース取りに苦労しました。新たな一年がどんな年になるのかときどき！いろんな感動やシーンを的確にお伝えできたら良いのですが。またご協力お願い申し上げます(島)